

# 8月の予定

2016年7月7日  
野毛山幼稚園



主 題	団 欒
ね が い	平和を考え、願い、共に祈り、平和に過ごす。 保育者や友だち、家族とゆったり過ごす。 さまざまな人や環境に出会い、いろいろなことを経験する。

聖句

平和を実現する人々は幸いである。

マタイによる福音書5章9節

世界を見ます時に、さまざまな場所でテロ、紛争があり、尊い命が奪われ、不安な日々が続いています。また、日本の国の動きを考えても不安なことがたくさんあります。

いったい本当の「平和」はいつ実現するのでしょうか。今年で戦後71年、戦争の恐ろしさを知らない世代が増えた今、平和の尊さを受け継ぎ、風化しないようにすることが大切です。

この時、「平和」についてさまざまな角度から考えていきたいと思えます。イエスさまの時代にも同じような仲間外れがありました。特に異邦人(外国人)に対しては隔ての壁がありました。イエスさまは2つの壁を一つとされ、人間の憎しみの心を背負って十字架にかかってくださいました。それによって私たちに「他人を赦す心」「受け入れること」の勇気と希望をいただいたのです。

イエスさまの存在そのものが「平和」です。自分を十字架にかけた人たちのためにまで父なる神さまに祈られたイエスさま。イエスさまの生き方を知りましょ

う。平和は何もしないで手に入れられないでしょう。私たちひとりひとりが平和を実現させる平和の使者「ピースメーカー」として自分のできることを考え、自分の足元から実行していきましょう。

シャローム…イスラエルの国の挨拶のことばです。ヘブライ語で「平和」を意味しますが、単に争いのないことではなく、力と生命に溢れた状態でもあります。「シャローム」は「平和」という意味の他、「平安」「平穩」などの意味もあります。

わたしたちの社会全体が、イエスさまの注いでくださる愛と平安の中に生きるものとなりしたいと思います。

シャローム!



予 定

日	曜	予 定	備 考
25	木	緑陰保育	
26	金	緑陰保育	
27	土	のげやまフェスティバル	
30	火	緑陰保育	
31	水	緑陰保育	

八月や、六日、九日、十五日

はちがつや、むいか、このか、じゅうごにち

広島原爆の日 長崎原爆の日 終戦記念日

この川柳にもあるように、8月は日本にとって「平和」について考えなくてはならない時です。

今年で戦後71年。

戦争のために苦しんだ人たち、また、今なお苦しんでいる人たちがたくさんいることを知り、おとなも子どもも戦争の悲惨さにふれる機会を大切にしたいと思えます。

◇「平和」ってなんだろう…

それぞれの年齢に応じて考え、具体的にどうしたらよいか、身近なことで考える機会を持ちましょう。

仲良くする お友だちのことを考える

嫌な気持ちになることを言ったり、やったりしない…等

◇神さまからいただいた「いのち」を大切に思う

◇平和に安心して暮らせないお友だちがいることを知る。

年 長 (もみじ組)	年 中 (つくし組)	年 少 (あやめ組)
規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。 のげやまフェスティバルで楽しく過ごす。 園生活のリズムを取り戻す。	規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。 のげやまフェスティバルで楽しく過ごす。 園生活のリズムを取り戻す。	規則正しい生活をおくる。 できることは自分でするようにする。 食事の前にお祈りをする。 公共でのマナーを知って守る。  はじめてのこともやってみる。 のげやまフェスティバルで楽しく過ごす。 園生活のリズムを取り戻す。

## 読んでみよう 考えてみよう

子どもたちと「平和」を考え、分かち合うために、絵本を読んでみませんか？

戦争に関する本はたくさん出ていますが、今、わたしたちの中にある問題を考えていくのはどうしたらいいでしょうか。平和の本は選ぶのがとても難しいです。まず、お母さんが読んで感じて、難しい言葉は直して読んだり話したりしてください。

(貸出希望の場合は、用紙に記入してください)

